

Ⅱ 「安心」への取組

(1) 食品表示の適正化

取組事項	担当課室	平成28年度取組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
① 「食品表示推進者育成講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品表示推進者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示推進者育成講習会を6回開催し、食品関係事業者371名の受講があった。	達成
2 食品・生活衛生課及び各県立保健所に食品表示相談窓口を設置し、事業者等からの相談に対応します。	食品・生活衛生課	食品・生活衛生課及び各県立保健所(支所)に、相談窓口を設置するとともに、関係課室と連携の上、相談対応を行った。平成28年度の相談件数は、県全体で847件であり、前年度に比べ28件減であった。	(達成)
3 食品制度に関するパンフレットなどを作成し、正しい知識の普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	「知っておきたい食品表示」パンフレットを講習会やおはなし講座などで配布し啓発を行った。	(達成)
④ 食品等事業者(加工・製造者)の監視指導時に、食品表示についても点検・指導を行います。	食品・生活衛生課	食品等事業者(加工・製造者)の監視指導時において、食品の表示を確認し、必要な場合に改善等の指導を行った。	達成
⑤ 「食品表示ウォッチャー」を設置し、食品の表示状況を消費者の視点から監視します。	食品・生活衛生課	食品表示ウォッチャー29名を設置し、消費者の視点から食品表示の監視を行った。モニタリング回数は4,570回、疑義報告件数は17件(うち不適正表示の指導等は12件)であった。	未達成
6 「食品表示110番制度」を運営し、県民等からの疑問や相談に対応するとともに、適正表示を推進します。	食品・生活衛生課	食品表示に関する疑問・相談に対し、表示制度等を分かり易く説明した。また、不適正な表示が疑われる情報等は、必要に応じて事業者に調査等を実施、適正表示の徹底を指導した。	(達成)
7 関係機関と連携し、県内食品関連事業者への食品表示法等関連法規の周知及び巡回調査、適正表示の指導等を行います。	食品・生活衛生課	関係機関と連携し、県内小売店舗等を対象とした食品表示の実態調査等に基づき、適正表示の徹底について指導等を行った。県内の指導等対応件数についてはHP上に結果を掲載した。	(達成)
8 医薬品医療機器等法に違反する食品表示がないように、パンフレットやインターネットなどの広告について監視指導を行います。	薬務課	年度中に計10件の相談を受け、医薬品医療機器等法に抵触する表現については改善指導した。	(達成)
9 広告指導の指導事例を共有化することで、相談・監視体制を強化します。	薬務課	広告監視指導に関する担当者会議を1回開催し、広告監視事例について情報を共有した。	(達成)

目標管理項目		26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
①	講習会の受講者数(累計)	目標値	—	2,300人	
		実績値	2,001人	2,349人	
2	迅速な相談対応	目標値			
		実績値			
3	県民が参加するイベント等での啓発	目標値			
		実績値			
④	監視指導時の食品表示についての点検・指導割合	目標値	—	100%	
		実績値	100%	100%	
⑤	モニタリングの回数	目標値	—	6,500回/年	ウォッチャーによるモニタリングの回数に差があった。今後は、食品表示ウォッチャー30名を設置し、引き続き消費者の視点から食品表示の監視を行う。
		実績値	4,917回/年	4,025回/年	
6	迅速かつ適切な対応	目標値			
		実績値			
7	調査件数の公表	目標値			
		実績値			
8	迅速な改善指導	目標値			
		実績値			
9	広告監視担当者会議における情報共有	目標値			
		実績値			

(2) 人の健康に役立つ食品表示の推進

取組事項	担当課室	平成28年度取組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑩ 「わかやま健康食品製造業者連絡協議会」を開催し、健康食品の表示に対する事業者の意識を高めます。	食品・生活衛生課	健康食品による危害の未然防止、表示広告及び販売方法の適正化を目的として研修会を開催した。景品表示法・健康増進法の留意事項及びHACCPに基づく衛生管理に関する制度の説明を行った。	達成
11 企業ニーズに基づき、表示対象となる食品の機能性成分の分析方法を拡充します。	工業技術センター	和歌山県産果実や加工品について、抗酸化能評価のL-ORAC、SOAC法を検討し、5件の受託試験・研究を行った。	(達成)

目標管理項目		26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑩	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	80%	
		実績値	85%	91%	
11	適切な試験項目の選択と最適な分析方法の検討	目標値			
		実績値			

(3) コンプライアンスの向上

取組事項	担当課室	平成28年度取組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑫ 「食品表示に係るコンプライアンス講習会」を開催し、正しい食品表示に取り組む食品事業者を育成します。	食品・生活衛生課	食品表示に関するコンプライアンス講習会を開催し、食品関係事業者102名が受講した。	達成

目標管理項目		26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑫	講習会の受講者数(累計)	目標値	—	680人	
		実績値	580人	755人	

(4) 生産から販売までの食品情報を公開するしくみ (トレーサビリティシステム)の導入と普及

取組事項	担当課室	平成28年度取組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
⑬ 米穀事業者に対して、取引の記録や産地情報の伝達を啓発します。	果樹園芸課	国から疑義情報の回付のあった事業者に対し、事業者の法に基づく責務を説明・指導を行った。	達成
⑭ 牛トレーサビリティ制度に基づき、耳標の適正な管理を指導します。	畜産課	牛トレーサビリティ制度について、関係機関と連絡調整・意見交換を実施するとともに、牛飼養農家57戸に対して耳標の適正な管理を指導した。	達成
⑮ 商品に関する情報や企業姿勢が正しく消費者に伝わるための取組を食品事業者等に啓発します。	食品流通課	消費者の食に対する信頼を高めることを目的とした生産者支援セミナーを実施 ・商談会成約率アップコース(5回) ・HACCP導入型戦略的品質管理コース(4回)、現地指導(4社)	達成

目標管理項目		26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
⑬	地域米穀事業者の違反件数	目標値	—	0件	
		実績値	0件	0件	
⑭	県内牛飼養農家の指導割合	目標値	—	100%	
		実績値	100%	100%	
⑮	研修会等での啓発	目標値	—	20社	
		実績値	42社	38社	

(5) 食に関する情報交換の推進

取組事項		担当課室	平成28年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
16	「食の安全推進会議」を活用し、全庁的な食の安全・安心施策を推進します。	食品・生活衛生課	7月1日及び1月16日に推進会議を開催し、第4次アクションプランの平成27年度実施結果報告及び、第5次アクションプラン策定に係る意見聴取や協議等を行った。	(達成)
⑰	「食品衛生管理指導計画」の策定前に県民のご意見を募集し、計画に反映させます。	食品・生活衛生課	平成29年度食品衛生監視指導計画(素案)についてパブリックコメントを実施し、広く意見を求めた。	達成
⑱	「食の安全県民会議」を開催します。	食品・生活衛生課	7月15日、11月17日及び1月24日に会議を開催し、新アクションプラン策定、食品衛生監視指導計画、事業推進の方策等について協議を行った。	達成
⑲	「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣し、食の安全・安心に関する取組を紹介し、理解を深めて頂くとともに、ご意見を頂きます。	食品・生活衛生課	「出張！県政おはなし講座」等に講師を派遣、195回、計7,732名の県民を対象に研修会を開催し、食中毒予防や食品表示について説明した。	達成
20	食の安全・安心ホームページ「食の安全・安心わかやま」から、情報の発信と質問の受付を行います。	食品・生活衛生課	食の安全・安心に関する情報を随時「食の安全・安心わかやま」に掲載し、情報の発信を行った。	(達成)
㉑	「食の安全シンポジウム」を開催し、消費者をはじめ、食に携わる方々がみんなで考える場を設けます。	食品・生活衛生課	平成29年3月に和歌山市で「知ろう、学ぼう、食物アレルギー」をテーマに開催した。参加者は150名であった。	達成
㉒	県内各地で「食の安全タウンミーティング」を開催し、「食」に関する情報提供や、ご意見をいただく場を設けます。	食品・生活衛生課	タウンミーティングの開催なし	—
㉓	食の安全サポーターを募集し、食の安全に関する情報交換を行います。	食品・生活衛生課	シンポジウムやタウンミーティングの開催案内や啓発資料等の送付により情報提供を行った。	達成
24	食の安全性に関する基礎的な知識について、普及啓発を行います。	食品・生活衛生課	出張県政お話し講座や食の安全に係る意見交換会において、食中毒予防や、食の安全について普及啓発を行った。	(達成)

目標管理項目			26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
16	施策の円滑な調整	目標値				
		実績値				
⑰	意見募集回数	目標値	—	—	1回	
		実績値	1回	1回	1回	
⑱	県民会議の開催回数	目標値	—	—	3回	
		実績値	2回	2回	3回	
⑲	アンケートで「有意義であった」以上と回答した人の割合	目標値	—	—	80%	
		実績値	97.4%	94.6%	95.0%	
20	情報の速やかな発信	目標値				
		実績値				
㉑	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%	
		実績値	92%	97%	92%	
㉒	アンケートで「有意義であった」とした人の割合	目標値	—	—	90%	開催テーマ及び手法等を検討した結果、平成28年度はシンポジウムのみの開催とした。今後は、食品工場見学等を取り入れた体験型のタウンミーティングを開催を検討する。
		実績値	78%	—	—	
㉓	情報交換の回数	目標値	—	—	7回	
		実績値	6回	6回	7回	
24	意見交換会等での知識の普及	目標値				
		実績値				

(6) 認証制度の充実

取組事項	担当課室	平成28年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
㊫ 「ふるさと認証食品認証制度」により、安心できる特産品加工食品を認証します。	農業環境・鳥獣害対策室	3品目、40食品を認証(新規:2食品、更新38食品)。 認証品目数(累計)は5品目、認証食品数(H29.4.1現在)は326食品。 ①梅干し・調味梅干し:300食品、②味付けぼん酢:3食品、③だいこんの漬物:5食品、④果実ジュース:16食品、⑤黒大豆・黒豆煮:2食品	達成
26 ふるさと認証食品認証制度の概要と認証食品等をホームページで公表します。	農業環境・鳥獣害対策室	県ホームページにて、制度概要、認証食品、認証食品を製造する者を迅速に公表(平成28年度公開日:4月3日)。	(達成)
27 安全・安心を基本に、「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」の優れた県産品を推奨認定します。	企業振興課	認定申請のあった県産品について、食品表示法、薬機法等の食の安全・安心に関する法令審査を実施。法令違反や不適切な表示等があった場合は、是正させた上で認定を行った。新規93商品、更新257商品を認定した。	(達成)
28 安全・安心の「わかやま産」ブランド構築に向けた県の取組を紹介します。	食品流通課	わかやま産品商談会in和歌山とわかやま産品商談会in大阪は、生産者支援セミナーの成果発表機会と位置づけ、この場で、安心・安全なわかやま産品を紹介した。その他の商談会、イベントにもプレミアム和歌山商品をはじめとした和歌山産品の販売促進。	(達成)
㊫ 消費者にHACCPによる衛生管理の取組を周知します。	食品・生活衛生課	食育関係イベントの場でHACCPに関する説明を行なった。加えて、啓発ブースを設け、啓発物品やリーフレットの配布を通じてHACCPの普及啓発を行った。	達成

目標管理項目			26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
㊫	認証品目数(累計)	目標値	—	—	5品目	
		実績値	5品目	5品目	5品目	
26	迅速な公表	目標値				
		実績値				
27	安全・安心な県産品の認定	目標値				
		実績値				
28	商談会やイベントにおけるPR	目標値				
		実績値				
㊫	啓発活動の実施回数	目標値	—	—	2回	
		実績値	2回	1回	2回	

(7) 環境にやさしい食品づくり

取組事項	担当課室	平成28年度取り組み状況 (取組目標を設定したものは自己評価内容)	達成度 (自己評価)
③⑩ 化学肥料と化学合成農薬を一切使用しない、または県慣行使用量の半分以下に減らして栽培された農産物の拡大を推進します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内7か所に「エコ農業実証モデル園」を設置し、先進的な栽培手法等の展示を実施するとともに、モデル園4か所で生産者・JA等を対象にした現地研修会を開催した。また、県内全域の農業者等を対象に「県エコ農業研修会」を開催し(出席者:76人)、環境保全型農業を取り巻く状況について理解を深めた。	達成
③⑪ 土づくりや化学肥料・化学合成農薬の使用の削減に取り組む「エコファーマー」の新規認定数を拡大します。	農業環境・鳥獣害対策室	県内7か所に「エコ農業実証モデル園」を設置し、先進的な栽培手法等の展示を実施するとともに、モデル園4か所で生産者・JA等を対象にした現地研修会を開催した。また、県内全域の農業者等を対象に「県エコ農業研修会」を開催し(出席者:76人)、環境保全型農業を取り巻く状況について理解を深めた。	概ね達成
③⑫ 農地・かんがい水、玄米等の重金属含有調査を行います。	農業試験場	平成27年度までに、ミニトマト、イチゴ、実エンドウ、ショウガ、シシトウ、ガランの鉄、マンガン、銅、亜鉛含有量を調査し、目標を達成したため、平成28年度は実施していない。	—
③⑬ 環境保全型農業の実践程度を把握するための指標及び評価手法を開発します。	農業試験場	ハボタンを含む10作物を防除指針に掲載するとともに、キャベツのIPM実践指標を作成した。継続して1年に1作物のIPM実践指標作成に取り組む。	達成
③⑭ IPM防除の実践や有機農業の推進に関する技術研修を行います。	果樹試験場	IPM防除の実践について、カンキツの害虫の防除を中心として、農業者に対する技術研修を2回実施した。	達成
③⑮ 養殖漁場における環境モニタリング調査を実施します。	水産試験場	平成28年5月12日及び平成28年9月27日に実施し、養殖漁場の環境指標となる水質、底質及び底棲生物等を調査した。	達成
36 漁場改善計画に則した養殖漁場の改善に努めます。	資源管理課	漁場改善計画を立てた漁場については適切な漁場管理が行われた。	(達成)

目標管理項目			26年度	27年度	28年度	(未達成の場合のみ)未達成の原因及び今後の方向性
③⑩	認証取組面積(累計)	目標値	—	—	270ha	
		実績値	258ha	263ha	277ha	
③⑪	エコファーマー新規認定数	目標値	—	—	40件	
		実績値	64件	27件	38件	
③⑫	主要農産物の重金属含有量	目標値	—	—	5品目	
		実績値	0品目	5品目		
③⑬	総合的病害虫・雑草管理実践指標	目標値	—	—	9作物	
		実績値	8作物	9作物	11作物	
③⑭	研修会の参加人数	目標値	—	—	60人	
		実績値	27人	134人	112人	
③⑮	調査実施地点数	目標値	—	—	7地点	
		実績値	7地点	7地点	7地点	
36	漁場改善計画の履行確認	目標値				
		実績値				